

必然的に職業組合に墮する路を辿るものである。故に全無産階級陣堂の産業別整理に基いて当然化率労働組合の一基石なる可き使命を持つ者である。現在吾々の特殊的部分的闘争の題目に於ても、ゴム菜豆セルロイド等の労働者と一致する点が多い。その闘争は必然に化学産業労働者の一大組織に發展する物である。

次に掲ぐる物はカラス労働者の当面する要求であつて吾々は勇敢に之を獲得す可き闘争の過程に於て全カラス労働者を吾々の傘下に糾合せねばならぬ。

- 一、カマツキ期間中の日給支給。
- 二、ジャマパン屋制度の改善。
- 三、傷害手当の制定。
- 四、衛生設備、完備。
- 五、労働時間の短縮（最長十時間）。
- 六、朝鮮人にも日本人と同等の賃銀支給。

其の爲めに次の方法をとる。

- 一、工場共済会及び其の他御用団体の自立化
- 二、工場茶話会開催指導
- 三、工場代表者会議、開催指導
- 四、工場委員会の組織と指導
- 五、全経済的闘争

更に吾々の闘争は現行資本主義の政事権力に向つての無産階級の政事闘争に發展しなげばならぬその爲に

一、吾等を連れて労働農民党を支持せよとある

以上の活動は備ふる爲の吾等は常に無産階級の理論と訓練の獲得に努めねばならぬ。其の方法として

一、研究会の組織

一、其の中心政治的経済的闘争に勇敢に参加する事

硝子労働者には朝鮮人々非常に多い。而して従来の偏愛國主義的ブルジョア教育の爲め日鮮